

🧬 知っておきたい大切なこと

- 👉 がん遺伝子パネル検査について、検査の事前に「がんゲノム医療コーディネーター」から面談による検査の説明があります。
- 👉 現在のところ、この検査で効果的な治療薬が見つかる割合は約10%と言われています。
- 👉 見つかった薬が健康保険が使えない場合（自費診療）*や、大学病院等での治験**を紹介する場合があります。
- 👉 がん遺伝子パネル検査は原則、手術で摘出した標本を用いて実施します。標本の状態によっては結果が得られないことがあります。
- 👉 検体と必要な診療情報が外部の検査会社に送られます。検査結果のご報告まで、1～2ヶ月かかります。
- 👉 「二次的所見」として、遺伝性（近親者にも関係する）遺伝子の変化が見つかることがあります。
- 👉 がん遺伝子パネル検査で得られた検査結果は患者さんの同意の上、国立がん研究センターの「がんゲノム情報管理センター」に情報が送られます。
 - ・企業や大学などでの治療や診断のための研究に活用されます（情報の二次利用は第三者機関の厳正な審査による承認が必要です）。
 - ・がんゲノム医療中核拠点病院で、専門家による検討が行われます。
 - ・検査結果に基づく最新の治験情報が返ってきます。

* 当院では保険適応外の治療はできません。

**新薬の評価のために患者さんに参加してもらって実施する試験

🧬 がん遺伝子パネル検査の対象となる方の例（保険診療）



固形がん（塊状に増殖するがん）の方
※白血病など血液のがんには対応していません



過去3年以内に手術を受けられた方



標準的な治療を実施済みにもかかわらず、効果が得られない方（終了見込みも含まれます）



原発の臓器が不明の方

上記の事項と患者さんのお身体の状態を踏まえて、主治医が遺伝子パネル検査に適応があるかどうかを判断します。

がん遺伝子パネル検査を保険診療で実施できるのはがんゲノム医療中核拠点病院とその連携病院のみです。県内では当院と東北大学病院のみです（令和元年6月現在）。

がん遺伝子パネル検査は保険診療ですが、高額療養費の限度額適用が可能です。

お問い合わせ

地方独立行政法人宮城県立病院機構
宮城県立がんセンター がん相談支援センター

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

TEL:022-384-3151（代）

遺伝子を調べる新しい医療

がん遺伝子 パネル検査 のご案内

～がんゲノム医療について～



地方独立行政法人宮城県立病院機構
宮城県立がんセンター がんゲノム医療センター



がんは遺伝子変化の病気です。



ゲノムとは私たちの細胞の中にあり、親から子へ受け継がれる「DNA」という遺伝物質全体です。この中に体全体の設計図であり、かつ機能のプログラムとも言うべき「遺伝子」が含まれています。

細胞は時に遺伝子の複製ミスを行います。このミスが一部の細胞に発生・蓄積していくことで「がん細胞」になります。「がん遺伝子パネル検査」は、がんに関係する 100 種類以上もの遺伝子を一度に調べます。どのような変化があるのかを明らかにすることで、一人一人のがんの特徴を調べ、その原因が判明したり、がん細胞に応じた治療薬が見つかる可能性があります。

検査の流れ 報告まで 1 ~ 2ヶ月かかります

